

接続表現

【時間・コマ数】

月～金 50分×2コマ×3週

【クラス人数・クラス数】

5人～8人×8～9クラス（必修）

【到達目標】

基本的な接続詞について、その連文レベルでのプロダクションにおいて、適切な運用ができる。より具体的には、ある二つの文を適切な接続詞を用いて接続することにより、その意味関係を明確に表すことができることを目標とする。

【授業概要】

接続関係を順接、逆接、添加、選択、補足、言い換え、転換、対比に分類し、それぞれの意味関係を表す接続詞について、特にその異同を中心に学習し、正しく接続詞を用いることができるようにする。2週間の集中授業で、接続詞を一度まとめて学習することで、接続詞の体系を整理し、その後の運用練習の基礎を養う。

【授業テーマ・内容】

1. 順接
2. 逆接
3. 添加
4. 選択・復習
5. 補足
6. 言い換え
7. 転換
8. 対比
9. テスト

【教材】

『接続表現』（IUC作成教材）

以上